

## シラス調査情報(No.3)

令和元年7月22日(月)に、調査船「いばらき丸」によりシラス卵稚仔調査を行いました。調査結果は以下のとおりです。

### 【調査内容】

銚田市玉田沖の定線において、ノルパックネットによる卵採集調査(水深150mからの鉛直曳き)、ニューストンネットによる仔稚魚採集調査(表層曳き)、および海洋観測調査を行いました。



調査船いばらき丸(179トン)

### 【調査結果】

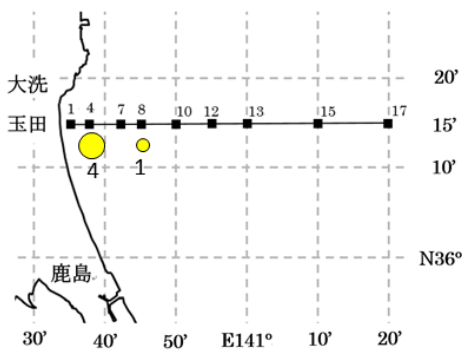


図1 カタクチイワシ卵採集結果

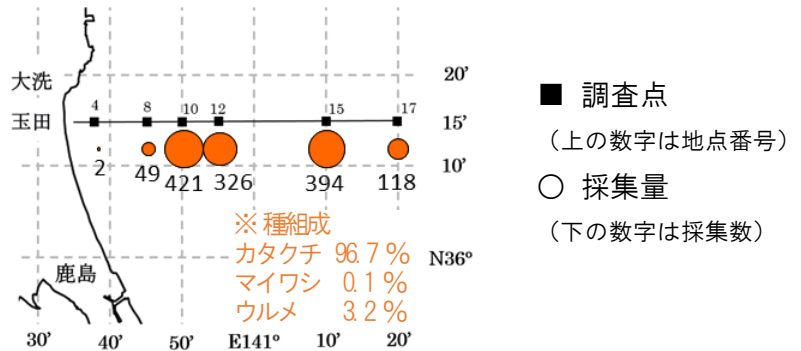


図2 イワシ類仔魚採集結果  
(マイワシ、ウルメを含む)

表1 調査点及び海洋観測結果

調査ライン (北緯36° 15')	st(調査点)	1	4	7	8	10	12	13	15	17
	経度		140° 35'	38'	42.5'	45'	50'	55'	141° 00'	10'
離岸距離(マイル)		1	4	8.5	11	16	21	26	36	46
水深(m)		12	24	37	50	117	270	510	770	1000
観測結果	水温(°C) 0m	21.9	21.5	22.0	21.5	22.0	21.8	22.2	22.9	23.4
	50m	-	-	-	-	16.5	16.3	16.6	15.6	13.6
	100m	-	-	-	-	13.3	12.0	13.5	13.6	11.6
	流向°(10m)	-	131	143	175	106	78	148	92	118
	流速Kt(10m)	-	0.2	0.3	0.7	0.4	0.9	0.4	0.2	0.2

### 【まとめ】

カタクチイワシ卵およびイワシ類仔魚の採集量は、1地点あたり平均で卵0.6個、仔魚218尾となり、7月の5カ年平均、卵4個、仔魚618尾を下回りました(図1, 2)。

また、仔魚の種組成はカタクチ仔魚が主体であり、前月に比べウルメイワシ仔魚の採取尾数が増加し、マイワシ仔魚は減少しました。

調査ラインの水温は、表層で21~23°C台、水深100m層で11~13°C台で、表層は前月よりも昇温しました。また、潮流は出潮~逆潮(東~南向きの潮)が観測されました(表1, 図3)。

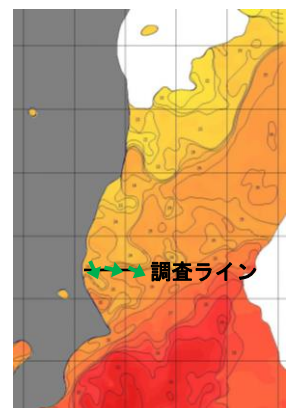


図3 NOAA衛星画像(7/25)